



競技の中でも一番盛り上がるのが地区対抗リレー。津川晋士さんから原田英美さんへバトン

地区大運動会 八方原チームの奮闘

YAKATABARA

5月の第3日曜日は、小郡地区大運動会です。今年も21日に開催され、八方原チームも含めて22自治会の参加でした。

当初は八方原チームの出場も厳しいかなと思われましたが、体育部長をはじめとして関係者の尽力で、一部競技を除いて参加することができました。ことにチーム対抗リレーへの参加が

できたことは、大変にうれしいことでした。リレー競技は走力も重要ですが、チームワークが大事です。八方原チームは着実にバトンをつないで2位入賞、テントの中は大変な盛り上がりとなりました。

総合順位は16位となりました。ここ数年、出場チームに与えられる参加点のみという結果が続いていましたので、かなりの躍進といえるでしょう。

参加の選手、応援のみなさん、お疲れさまでした。みんなの力で素晴らしいチャレンジとなりました。

水路に大量の土砂

毎年各自治会で行われる「一斉清掃」。当自治会では水路清掃として実施しています。今年も5月14日に、39名の参加で作業を行いました。また、市道のガスマン設工事の関係会社の方



一輪車で運搬だけでは間に合わないの、急遽トラクターの応援

が12名応援してくださいました。今年の作業は難航しました。それは予想をはるかに上回る土砂の量だからです。従来の数倍の量だと思われま

す。もしも、工事関係の方々との協力がなかったら、今回は午前中で作業は終わらなかつたかもしれませぬ。業者の方々には大変なご苦労をおかけしてしまいました。

作業中から、多くの参加者の土砂引き上げ作業の困難さの声が上がりました。運搬にはトラクターの力を借りましたが、水路から土砂の引き上げ作業の改善が必要です。

長寿命化事業が泥上げ作業を軽減か



作業にかかる前に「泥上げ作業」の手順を打ち合わせ

農業関係者の共同作業で行われる排水路の泥上げ、作業は毎回厳しいものになります。5月7日に今年も実施しましたが、作業範囲、泥の量とも平年以上でした。

昨年度施設長寿命化の事業として大森排水路の水路畔成型加工を実施しましたので、大森水路周辺は作業は多くはありませんでしたが、それ以外の水路は大量の土が堆積しており、その除去作業は厳しいものです。

農業関係者29名が、作業を分担し



地区ごとに防災士を養成する際にはお地協の援助がある

公民館での避難訓練

5月7日、公民館の避難訓練を行いました。今回はおごり地域づくり協議会の生活安全部会から防災士の徳光部会長をお招きして、講座を行いました。私設消防組から自主防災組織への組織替えの必要性や、自治会単位での防災士の養成の方法などについても指導していただきました。訓練では、消火ポンプが使用できないという設定で、負傷者の搬送を行いました。消防組は、防災用の土嚢80袋の作成を行い、地区内の必要個所に設置しました。

て行いますが、排水路の延長は役2500メートル、同時に行う供給側の水路も同様の延長があります。天候の影響で比較的に泥が乾いた状態でしたので、例年よりは楽だったと言えるかもしれませんが、強い日差しの中で3時間の作業となりました。この泥上げ作業は、毎年行われてきました。泥を水路のどちらかに上げるか年度ごとに決めて、偏らないようにしていますが、結果的に水路畔は段々

と盛り上がり、草刈り作業のやり辛いかまぼこ型になってしまいました。そこで昨年度はその成型作業を専門業者に委託したわけです。この水路畔の成型作業については市の農業整備課から詳細について聞き取りも行われました。長寿命化の事業の対象となるかならないかの瀬戸際に当たるようです。実際には農地の土木作業には、厳しいルールがあり、膨大な費用が掛かることが分かっています。八方原の環境を守る会では、今回の事業が最も効果的と判断しています。

6月の行事予定

- 6月9日 午後7時
八方原の環境を守る会の年次総会を開催します。
- 6月中旬 午前中
山口市立上郷小学校2年生が「田植え作業の見学」に来ます。
- 6月17日 午後3時予定
自治会、農業団体、地区内事業者代表者などとの意見交換「振興会議」を開催。
- 6月25日 午前8時
市道と公有地の除草作業です、たくさんの参加をお待ちしています。



水防用の土嚢、消防組は手慣れたもの